

◎「ま水にすむ貝の研究から」 向上高校生物部 2005年8月23日（火）～9月10日（土）

生物部では、1999年に神奈川県内で初めて外来種のタイワンシジミの生息を確認して以来、相模川全流域で生息調査を実施してきました。2004年からは『桂川・相模川流域協議会』と合同で、相模湖より上流部の桂川流域及び山中湖の調査を継続しています。

その結果、相模川流域では122ヶ所中58ヶ所でタイワンシジミの生息が確認されました。山梨県内でも、相模川の源流である山中湖にタイワンシジミが生息していました。一方、在来種であるマシジミの生息が確認されたのは、厚木市と城山町の2ヶ所だけで、近い将来マシジミがいなくなってしまうのではないかと心配されます。

外来種のタイワンシジミが分布を広げた経緯は、相模川に侵入したタイワンシジミが西部用水路や左岸用水路といった主要な農業用水路で繁殖し、下流側の河川に分布を広げたことです。また、ホタルの幼虫やカワニナといっしょに、外来種とは知らずにタイワンシジミが放流されていることもわかりました。

静かに分布を広げるタイワンシジミと、調査の際に偶然出会い、20年ぶりの生息確認となったニホンミズシタダミという小さな巻貝について紹介いたします。



淡水貝の調査風景

ミニ文化祭

2階情報コーナーの活用をはかるために今年度からミニ文化祭という名で展示の募集を行った。これは、若い世代による地域研究に発表の場を提供し、身近な自然と文化について調べる気運を高めるとともに情報交換と交流の機会を作るために計画したものである。小学校から大学までの児童生徒、学生による研究発表作品で、博物館のテーマである「相模川流域の自然と文化」にふさわしい内容のものを募集し、展示者は個人でもグループでも可とし、また、未発表であることは問わないことにした。市の広報などを通じて呼びかけ、またホームページ上で希望者を募ったところ、17年度については、下記の通り実施することができた。

通算回数	期 間	テ ー マ	展 示 者
1	17年7月30日～8月19日	湘南海岸の植物たち	東海大学教養学部藤吉研究室
2	17年8月21日～9月10日	ま水にすむ貝の研究から	向上高校生物部
3	18年2月11日～3月10日	藤沢市川名緑地の自然	日本大学生物資源科学部 川名里山レンジャー隊
4	18年3月15日～4月30日	雑木林に行ってみませんか	東海大学教養学部藤吉研究室